

# THE RECORD

社団法人 日本レコード協会

平成8年1月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN 〒104 東京都中央区銀座7-16-3 Tel (3541)4411(代)

平成8年1月号 No. 434

皆様には輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

95年は、経済界全体にとって、過去の経験則だけでは解決できない多くの難問が浮上した1年だったと思います。レコード業界にとりましては、経済界全体が安定上昇基調とは言い難い状況の中、生産実績の数字の上では何とか堅調な実績を残すことができました。

しかし、その一方、21世紀に向けて、産業の本質に迫る重大な問題に直面し、それらに取り組みながら終えた1年だったと思います。

まず、第一に、再販問題が緊迫した問題として浮上してきました。公正取引委員会により、著作物の再販制度に関する中間報告が出され、当業界にとって非常に厳しい内容であったこと。また、規制緩和の一環として政府の規制緩和小委員会も再販制度を見直す方向で動き出したことで、俄に再販問題がひとつの正念場を迎えました。当協会としましては、直ちに、公正取引委員会を始め関係各位に対し意見

## 年頭所感

### 21世紀に向けてカウントダウン終盤 今、何をなすべきか問いながら...

書を提出するなど、レコード製作者としての主張を明確にすると共に、音楽業界に係わる各団体と協調し「音楽文化懇談会」を設立し、この団体を母体とし、文化庁、通産省、公正取引委員会に要望書を提出し陳情活動を行うなど、活発な活動を展開してきました。

また、第二に、マルチメディアと

の主張である「送信権」「輸入権」「演奏権」のレコード製作者に対する付与と、「私的使用のための複製」に關しても隣接権者の権利が及ぶよう「法改正を要望しましたが、国際的にも、米国で「デジタル演奏権法案」が成立し、またWIPOの場でもデジタル化、ネットワーキ化に対する条約整備の動きが急ピッチで

展開するなど、新たな時代環境への対応が大きな課題となっています。

社団法人 日本レコード協会  
会長 松尾修吾

という言葉が非常に大きな概念で語られる中、レコード製作者にとって、より明確に将来的な課題を提示するテーマとして「デジタル化、ネットワーキ化に対する対応」という課題が浮き彫りになりました。当協会では、95年2月の著作権審議会マルチメディア小委員会WG検討経過報告書に対する意見書として従来から

題を掲げてのスタートとなりますが、音楽文化の源泉であるレコード産業の発展のために、今何をなすべきかを常に自問しつつ、皆様と共に歩を進めたいと念じております。皆様のお一層のご支援をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

## レコード協会が選んだ 平成7年の10大ニュース

日本レコード協会加盟の各レコード会社から「平成7年の10大ニュース」を寄せて頂きました。類似内容については、各社の選出主旨を損なわないよう留意して、項目をまとめました。

### ① 再販制度存続運動盛り上がる

7月25日の公正取引委員会再販問題検討小委員会の著作物の再販制度見直しを提言する中間報告の発表を機に規制緩和の流れも絡んで再販問題が再燃しました。これに対し、当協会では、強い危機感を持ち、公正取引委員会を始め、強い危機感を持ち、公正取引委員会、文化庁、通産省に対し、直ちに意見書を提出、また、関係国会議員の方々に陳情を行い、また、11月6日には、音楽関連10団体による音楽文化懇談会を設立する等、各方面で再販制度存続のための運動を積極的に行っていました。

### ② 阪神大震災起る

1月17日の阪神大震災は、レコード業界においても、被災地の神戸を中心に空前の被害をもたらしました。当協会では、直ちに松尾会長を本部長とする「阪神大震災対策本部」を設置、被災地のレコード店等に、見舞品、見舞金等の支援活動を行いました。また、音楽関係団体が集結し、3月に被災者支援のためのコンサートを開催しました。

### ③ デジタル化、ネットワーキング化への機運高まる

95年には、メディアのデジタル化、ネットワーキング化がより現実的かつ具体的に形を伴うようになり、新しい時代に対応した著作権

法の整備がいよいよ急務となってきました。また、2月には、これらの問題を審議する著作権審議会マルチメディア小委員会ワーキング・グループから検討経過報告書が発表されました。それに対し、レコード協会では、送信権、私的使用に係わる複製権の権利制限の撤廃等、デジタル化、ネットワーキング化に対応した著作権法の整備等を強く要望しております。

また、94年に設置されたニューメディアプロジェクトと新たに設置された隣接権審議会を中心に技術面、法制度での対応に関して研究が進められています。

### ④ 流通に大きな変化の波、競争激化

95年も外資系大型店の出店は活発でした。地方主要都市の出店が目立ち、出店店舗数は全国でのべ50店を越えました。また、既存店でも、郊外型複合店の出店や、CD-ROM等新たなメディアの取り扱いを始める等、レコードの流通は、確実に変化を遂げようとしています。

### ⑤ 洋盤レンタル使用料合意

5月に、長年の懸案事項であった貸与権の保護期間を超過した洋盤レンタルの使用料について、IFPI、当協会、日本CDレンタル商業組合の三者間で最終合意に達し、レンタルレコードに関する秩序づくりはひとつの区切りを迎えました。

### ⑥ 協会会員30社に

ここ数年、新たな製作者会社の躍進がめざましく、本年もその傾向が顕著でした。ビッグラムレコーズ、エイベックス・テイラー・ティーン、ザインレコーズの3社が新たに協会加

盟、当協会加盟社は30社となりました。

### ⑦ 協会事務所移転

昨今のレコード産業を取り巻く技術、著作権関連課題を始めとする業務の拡大、会員社の増加に伴い、当協会の会議室、事務所が手狭となったため、協会事務局は、9月に、50年来の馴染みであった東京築地を離れ、銀座に移転しました。

### ⑧ CD-R問題、ハードメーカーに要望書提出

94年12月に設立されたCD-R問題対策会議ではCD-R損害予測調査を行い、95年9月にその結果を報告書に取りまとめました。そして、その結果に基づき、「民生用CD-Rの取り扱いについての要望書」を作成、メーカーに提出しました。

### ⑨ 洋盤、輸入盤好調

95年も洋盤、輸入盤の伸びが顕著でした。洋盤は95年も前年比2桁の成長が見込まれ、輸入盤についても、前年比43%の伸び（通関統計より）を記録した94年の勢いは止まっておられません。その結果、音楽ディスク全体に占める洋盤の割合は29%程度になる見込みです。

### ⑩ DVD規格統一

次世代の大容量情報・AV記憶メディアとして注目を浴びているDVD（デジタル・ビデオ・ディスク）の規格が統一、今秋のハード、ソフト発売へ向けて動きだしました。今後、ソフトの規格づくり、複製問題を始めた著作権の整備等、我々ソフト業界が取り組んでいかねばならない問題が山積されています。

## 平成8年の重要課題

新しい年を迎えるに当たって、レコード協会では、今年も、加盟各社に「平成8年の重要課題」として意見を求めました。

この結果、以下にご紹介する項目が重要課題として指摘されました。レコード産業がより一層の発展を続けるために、これらの課題に積極的に取り組み、解決していくことが必要となります。

- 再販制度存続と健全な市場発展のための課題
- 再販制度存続のための活動
- 需要拡大のための諸施策実施
- レコード製作者の権益拡充に関する課題
- 「送信権」「輸入権」「演奏権」の獲得
- 技術革新に関する課題
- デジタル化、ネットワーキ化への対応
- 新デジタルメディアへの対応
- 民生用CD-R問題

### 再販制度存続と健全な市場発展のための課題

#### ●再販制度存続のための活動

規制緩和の流れも相まって、昨年緊迫した状況を迎えた再販問題は、引き続き、レコード業界にとって最重要課題となります。行政改革委員会規制緩和小委員会、公正取引委員会再販問題検討小委員会においても、継続して、著作物の再販制度の見直しについて議論されることになっております。このような状況のもと、昨年音楽関連10団体により設立された「音楽文化懇談会」は音楽文化の保護、発展のために、音楽関係者が一致団結して再販制度を擁護する母体となるものであり、再

販制度の存続・維持に最大限の努力を続けていくための環境は整いました。

今後も、音楽業界が一体となり、レコードの再販制度がレコード産業の健全な発展に寄与すると共に、音楽業界全体の繁栄の礎となるということを、音楽文化懇談会等を通じて、一般ユーザーに押し、さらに広範なPR、啓蒙活動等を行っていくことが緊急課題です。

#### ●需要拡大のための諸施策実施

レコード業界全体として共通のテーマとなる需要拡大策として、当協会が従来から取り組んでいる事業には、はや10回目の節目を迎える日本ゴールドディスク大賞の顕彰、多くのメディアに定着したゴールドアルバム等の認定・ヒットチャートの公表、2千タイトルを越えたQ盤の夏のキャンペーンの実施、音楽ギフトカードの普及促進、2回目になりさらに充実のFMフォーラムの実施等があります。いずれも、会員各社の積極的な協力体制により、着実に成果を挙げております。

96年は、3年目を迎えるQ盤キャンペーンの更なる充実を中心に、業界全体の需要拡大に向けてさらに充実した施策の実施が求められます。

### レコード製作者の権益拡充に関する課題

#### ●「送信権」「輸入権」「演奏権」の獲得

新時代におけるレコード製作者の権利を守るために、従来から要望を続けていた「送信権」「輸入権」「演奏権」の獲得は早急に解決が必要な緊急課題です。今後も、これらの権利確保のための活動をねばり強く続けていかなければなりません。送信権は、レコード産業が、デジタル化、ネットワーキ化に対応し、国際的なハーモナイゼーションということからも世界第2位の音楽市場である日本の対応が注視されており、早急な解決が望まれます。また、輸入権についても、昨年のIF

PI理事会において日本の輸入権の導入を始めとした世界的レベルでの輸入権の確立が行動目標として採択されており、今後も発展を続けるために必要不可欠な権利です。

### 技術革新に関する課題

#### ●デジタル化、ネットワーキ化への対応

昨年のインターネットのブーム、パーソナルコンピュータの一般家庭への飛躍的な普及は、デジタル化、ネットワーキ化の時代が現実到目前に迫ってきたことを実感させました。これらに対応するために、今年も「ニューメディアプロジェクト」「隣接権審議会」を中心に、権益の拡充はもとより、ISRCによる技術的対策やデータベースの構築等、予測される多様な新しいレコードの利用形態に対応し得る技術的基盤の整備に取り組む必要があります。

#### ●新デジタルメディアへの対応

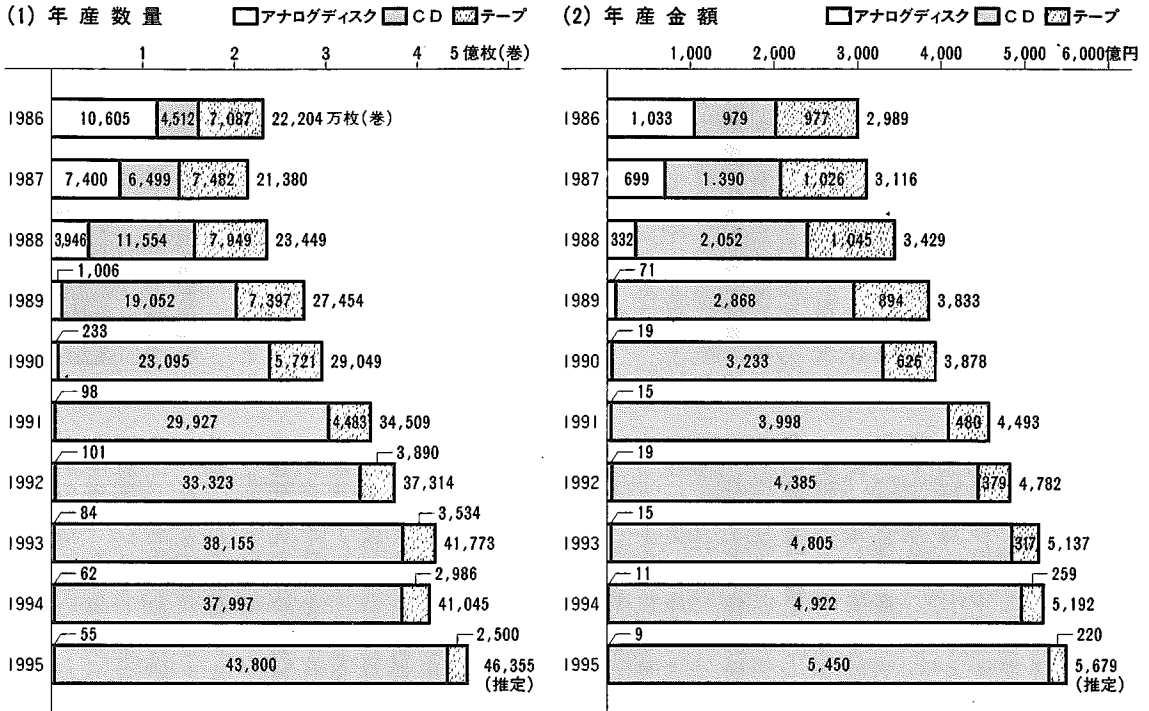
CDのパッケージメディアとしての機能、魅力の向上のために、高付加価値化についても更に研究を深め、ユーザーの新しいニーズに応える商品を提供していかねばなりません。また、秋にも商品化が予想されるDVDを始めとした新しいデジタルメディアに対し、ソフトウェア業界の立場として、技術研究、規格提案等に関し、積極的に取り組むことが必要です。

#### ●民生用CD-R問題

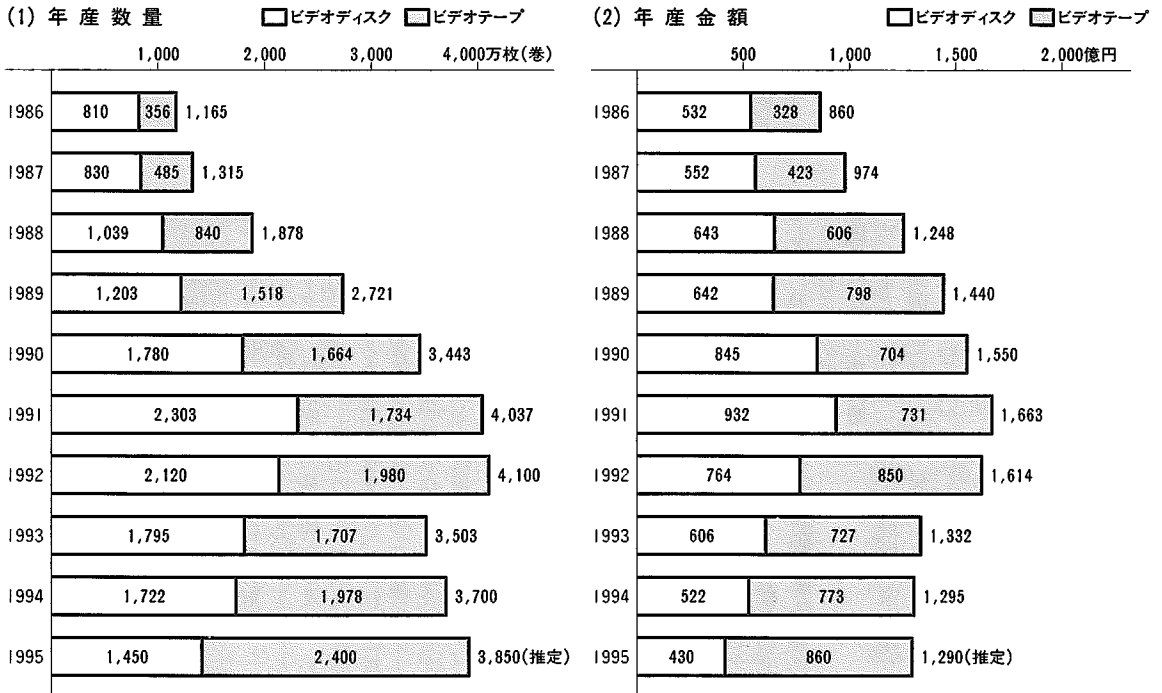
昨年まとめられた「CD-R問題対策会議」の損害予測調査では、CD-R普及により音楽ソフト層購入量の約3割がコピーに転じると予測されています。容易に劣化のないコピーを可能にするデジタル化の時代を迎え、CD-Rを始めとした今後のハードの動向に注視すると共に、デジタルの私的複製問題に関し、法制面、技術面での対応を十分に検討していく必要があります。

# 1995年生産の状況

## 1. オーディオレコード生産の推移 (ディスク/テープ)



## 2. ビデオレコード生産の推移 (ディスク/テープ)



1995年レコード生産の概況

1995年（1～12月の推計）のレコード生産概況は、オーディオ、AV複合型及びビデオを合わせた総生産は、数量56,055万枚・巻（前年比118%）、金額7,194億円（前年比107%）となりました（当協会加盟各社の集計）。

オーディオ・レコードの生産は、数量46,355万枚・巻（前年比113%）、金額5,679億円（前年比109%）となりました。このうちテープは、7年連続して数量・金額ともに大きく減産しました。

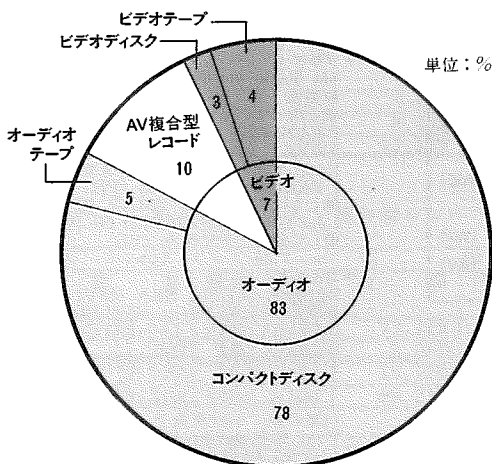
AV複合型レコード（CDグラフィックス、ビデオCD、CD-ROMなど）の生産は、数量は5,850万枚（前年比221%）、金額は225億円（前年比99%）となり、生産数量は著しい伸長を示しましたが、金額は若干の減額となりました。

ビデオ・レコードの生産は、数量3,850万枚・巻（前年比104%）、金額1,290億円（前年比100%）で、生産数量は堅調に推移しましたが、生産金額は前年並となりました。

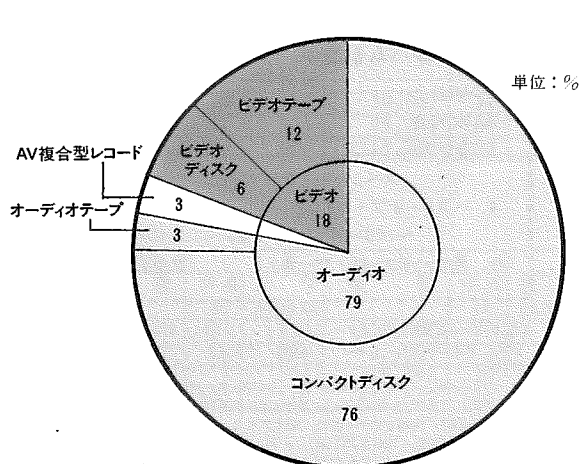
1995年レコード総生産高（推定）

種類		数量 (万枚・巻)	構成比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
オーディオ レコード	アナログディスク	55	0	89	9	0	82
	コンパクトディスク	43,800	78	115	5,450	76	111
	小計	43,855	78	115	5,459	76	111
	テープ	2,500	5	84	220	3	85
	合計	46,355	83	113	5,679	79	109
AV複合型レコード		5,850	10	221	225	3	99
ビデオ レコード	ディスク	1,450	3	84	430	6	82
	テープ	2,400	4	121	860	12	111
	合計	3,850	7	104	1,290	18	100
総合計		56,055	100	118	7,194	100	107

1995年レコード生産数量比率（推定）



1995年レコード生産金額比率（推定）



日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成7年11月度(10月21日~11月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
<b>■邦楽・洋楽合同シングル 5位</b>			
1.	ROMANCE/家へ帰ろ	Dreams Come True	(SME)
2.	BRAND NEW TOMORROW	trf	(AV)
3.	愛してます	大黒摩季	(BG)
4.	MY Babe 君が眠るまで	シャ乱Q	(BV)
5.	SWEET PAIN	globe	(AV)
<b>■洋楽シングル 5位</b>			
1.	TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオン with クライズラー&カンパニー	(SME)
2.	青春の輝き / トップ・オブ・ザ・ワールド	カーペンターズ	(PO)
3.	恋人たちのクリスマス	マライア・キャリー	(SME)
4.	サムシング・フォー・ザ・ペイン	ボン・ジョヴィ	(MME)
5.	ネコのホワイトクリスマス	ジングル・キャッツ	(FUN)
<b>■邦楽・洋楽合同アルバム 5位</b>			
1.	トレジャーズ	山下達郎	(EW)
2.	MARTINI II	鈴木雅之	(SME)
3.	DANCE TRACKS VOL. 1	安室奈美恵	(TO)
4.	MAX 2	ダイアナ・キング 他	(SME)
5.	NOW 3	シャンプー他	(TO)
<b>■クラシックアルバム 5位</b>			
1.	アダージョ:カラヤン	ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮 / ウィーンP.O	(PO)
2.	「静かな生活」オリジナル・ サウンドトラック/大江 光	海老彰子/荻野千里/小泉 浩(C)	
3.	「不滅の恋〜ベートーヴェン」	オリジナル・サウンドトラック	(SME)
4.	ピエ・イエス〜安息の日	オムニバス	(PO)
5.	フル・オン・ザ・ヒル	セルシエル・プレイズ・ ザ・ビートルズ	(PO)
<b>■洋楽アルバム 5位</b>			
1.	MAX 2	ダイアナ・キング 他	(SME)
2.	NOW 3	シャンプー 他	(TO)
3.	ラヴストーリーーズ・ スペシャル・エディション	セリーヌ・ディオン	(SME)
4.	ベスト・オブ・マドンナ 〜バラード・コレクション〜	マドンナ	(WJ)
5.	スキヤットマンズ・ワールド	スキヤットマン・ジョン	(BV)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポニーレコード(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(MME)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECAベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルダック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メディアレモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BC)/バイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロックイットレコード(RO)/エイベックス・ティーン・ティーン(AV)/ビー・ジーン(BJ)/ヴァインレコード(ZA)/ルームスレコード(BM)/ビークラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

11月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

11月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム(25作品)

- 3ミリオン  
Atomic Heart/Mr.Children (TF)
- クワッドラブル・プラチナ  
スキヤットマンズ・ワールド  
/ スキヤットマン・ジョン (BV)
- ミリオン  
ハチミツ/スピッツ (PO)  
DANCE TRACKS VOL. 1  
/ 安室奈美恵 (TO)  
トレジャーズ/山下達郎 (EW)
- ダブル・プラチナ  
MARTINI II/鈴木雅之 (SME)  
MAX 2/ダイアナ・キング他 (SME)  
NOW 3/シャンプー他 (TO)
- プラチナ  
劣等感/シャ乱Q (BV)
- プラチナ  
ラヴストーリーーズ・スペシャル・エディション  
/ セリーヌ・ディオン (SME)  
ベスト・オブ・マドンナ  
〜バラード・コレクション〜/マドンナ (WJ)
- ゴールド  
M-Collection BIRTHDAY PRESENT  
/ 福山雅治with HIS FRIENDS ALL  
STARS (BV)  
FOUR SEASONS  
/ THE YELLOW MONKEY (C)  
blue to blue/久宝留理子 (SME)  
Live Love Life/渡辺美里 (SME)  
圧倒的に片思い/谷村有美 (SME)  
ボンキッキーズ・メロディ  
/ 電気グルーヴ 他 (SME)  
スーパーユーロビート Vol. 60〜リクエスト・  
カウントダウン60!!/キング&クイーン 他 (AV)  
メイド・イン・ヘヴン/クイーン (TO)  
ヒッツ・アンリミテッド/2 アンリミテッド (MME)  
Christmas MAX/ワム! 他 (SME)  
STRIPPED  
/ ザ・ローリング・ストーンズ (TO)  
MEGA エルヴィス〜エルヴィス・プレスリー・  
エッセンシャル・コレクション  
/ エルヴィス・プレスリー (BV)  
オスモシス/オジー・オズボーン (SME)  
青春の輝き〜ベスト・オブ・カーペンターズ  
/ カーペンターズ (PO)
- シングル(28作品)
- クワッドラブル・プラチナ  
LOVE PHANTOM/B'z (BM)
- トリプル・プラチナ  
TO LOVE YOU MORE/セリーヌ・ディオン  
withクライズラー&カンパニー (SME)
- ダブル・プラチナ  
Message/福山雅治 (BV)  
ROMANCE/家へ帰ろ  
/ Dreams Come True (SME)  
青春の輝き/トップ・オブ・ザ・ワールド  
/ カーペンターズ (PO)
- プラチナ  
My Babe 君が眠るまで/シャ乱Q (BV)  
輪舞曲〜ロンド〜/松任谷由実 (TO)  
魂を抱いてくれ/水室京介 (PO)  
BRAND NEW TOMORROW/trf (AV)  
SWEET PAIN/globe (AV)  
Body Feels EXIT/安室奈美恵 (AV)  
I BELIEVE/華原朋美 (PI)  
俺たちに明日はある/SMAP (V)  
Last Good-bye/FIELD OF VIEW (ZA)  
愛してます/大黒摩季 (BG)  
ファンタジー/マライア・キャリー (SME)
- ゴールド  
DESIRE/LUNA SEA (MV)  
今夜はHearty Party/竹内まりや (EW)  
DAY BY DAY/L〜R(PC)  
BEAMS/黒夢 (TO)  
光と影を抱きしめたまま/田村直美 (PO)  
さよならなんて云えないよ/小沢健二 (TO)  
上・京・物・語/シャ乱Q (BV)  
白蓮の精/小沢重貴子 (C)  
Yes, Summerdays/GLAY (PO)  
もっと愛しましょう/LINDBERG (TE)  
MUSIC FOR THE PEOPLE/V 6 (AV)  
Beautiful Girls/小泉今日子 (V)

1995年11月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオディスク

	11月 実績						1995年(1月~11月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋	13,458	26	113	8,504	12	112	148,507	37	122	93,003	19	118
	計	877	2	146	423	1	164	3,673	1	125	1,657	0	107
	計	14,335	28	115	8,927	13	114	152,180	38	122	94,660	19	118
D	邦洋	23,352	46	129	41,884	59	134	150,425	38	108	259,661	52	106
	計	13,436	26	137	19,851	28	131	95,166	24	119	141,595	29	116
	計	36,789	72	132	61,735	87	133	245,591	62	112	401,256	81	109
アログ	邦洋	36,810	72	123	50,388	71	130	298,932	75	114	352,664	71	109
	計	14,313	28	138	20,274	29	132	98,839	25	120	143,252	29	116
	計	51,124	100	127	70,662	100	130	397,771	100	116	495,916	100	111
合計	邦洋	51	0	552	73	0	496	283	0	135	394	0	125
	計	52	0	83	103	0	82	193	0	62	379	0	64
	計	103	0	143	176	0	125	476	0	91	772	0	85
合計	邦洋	36,862	72	123	50,461	71	130	299,215	75	114	353,058	71	109
	計	14,365	28	137	20,377	29	131	99,032	25	119	143,630	29	116
	計	51,226	100	127	70,839	100	130	398,247	100	116	496,688	100	111

表2. オーディオテープ

	11月 実績						1995年(1月~11月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋	2,372	99	89	2,361	99	91	22,509	99	85	19,718	99	86
	計	33	1	59	30	1	40	270	1	69	280	1	61
	計	2,405	100	88	2,390	100	90	22,780	100	85	19,998	100	85
カートリッジ	邦洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋	2,372	99	89	2,361	99	91	22,509	99	85	19,718	99	86
	計	33	1	59	30	1	40	270	1	69	280	1	61
	計	2,405	100	88	2,390	100	90	22,780	100	85	19,998	100	85

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	11月 実績						1995年(1月~11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	11,044	100	283	2,844	99	106	51,055	100	224	20,234	98	100
洋盤	14	0	34	33	1	61	180	0	216	323	2	256
合計	11,058	100	281	2,877	100	105	51,235	100	224	20,557	100	101

表4. ビデオレコード

	11月 実績						1995年(1月~11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,528	42	82	4,698	36	88	13,515	39	87	39,507	34	84
テープ	2,083	58	113	8,432	64	140	21,421	61	123	75,789	66	112
合計	3,610	100	98	13,129	100	115	34,936	100	106	115,296	100	101

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	11月 実績						1995年(1月~11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	53,631	79	124	73,229	82	128	421,026	83	113	516,686	79	110
複合型CD	11,058	16	281	2,877	3	105	51,235	10	224	20,557	3	101
ビデオ	3,610	5	98	13,129	15	115	34,936	7	106	115,296	18	101
合計	68,300	100	134	89,235	100	125	507,197	100	119	652,539	100	108

備考 1. 本年実績は、会員会社「30社」の集計である。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

# 迎春

■1996.1.1現在 加盟社30社(創立・加盟順)

日本コロムビア株式会社	〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14 (3584)8111
ビクターエンタテインメント株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18 原宿ピアザビル (3746)5550
キングレコード株式会社	〒112 東京都文京区音羽1-2-3 (3945)2131
テイテック株式会社	〒105 東京都港区青葉台4-7-7 住友青葉台ヒルズ (3481)3200
ポリドール株式会社	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4 (3780)8501
東芝EMI株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-2-17 (5512)1700
日本クラウン株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-10-8 信和ビル (3582)4741
株式会社 徳間ジャパンコミュニケーションズ	〒105 東京都港区新橋4-10-1 大徳ビル (5470)8377
株式会社 ソニー・ミュージックエンタテインメント	〒162 東京都新宿区市谷田町1-4 (3266)5995
マーキュリー・ミュージックエンタテインメント株式会社	〒106 東京都港区六本木4-8-5 和幸ビル (3479)3711
株式会社 ポニーキャニオン	〒104 東京都中央区入船2-1-1 住友入船ビル (3555)6611
株式会社 ワーナーミュージック・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2 (5412)3111
株式会社 アポロン	〒162 東京都新宿区余丁町3-8 (5379)3500
株式会社 フォーライフレコード	〒154 東京都世田谷区池尻3-28-8 (5430)3106
株式会社 バップ	〒102 東京都千代田区四番町5-6 日本テレビ四番町別館 4 F (3234)5711
トラスレコード株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前5-7-20 神宮前太田ビル (3499)7080
株式会社 ポリスター	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-14-6 (5721)3211
アルファミュージック株式会社	〒107 東京都港区南青山5-4-40 橋本ビル2F (5466)2190
株式会社 キティエンタープライズ	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4 (3780)8660
株式会社 ファンハウス	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-20-7 (3792)5200
株式会社 イーストウエスト・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2 (5412)3511
B M G ビクター株式会社	〒150 東京都渋谷区渋谷1-3-9 (3797)9020
N E C アベニュー株式会社	〒213 神奈川県川崎市高津区久本3-14-1 044(813)9530
株式会社 メルダック	〒107 東京都港区北青山2-7-9 日昭ビル 8 F (3423)2525
パイオニアLD C 株式会社	〒150 東京都渋谷区恵比寿南1-20-6 (5721)4124
株式会社 メディアレモラス	〒160 東京都新宿区四谷4-28 YKBエンサインビル (3356)0361
M C A ビクター株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前5-52-2 JBPオーバル9F (5467)9500
株式会社 ビーグラムレコーズ	〒106 東京都港区六本木6-8-10 (3479)2371
エイベックス・ディー・ディー・株式会社	〒107 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル (5467)2555
株式会社 ツインレコーズ	〒106 東京都港区六本木5-2-1 (3403)2461

## レコード…限りなく広がる夢

私たちレコード会社は  
レコードに託す夢を  
皆さまとつしよに、大切に  
育てていきたいと思ひます